

## 第2章 政策の内容

### 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

#### 持続可能な循環型社会のまち

自然環境は菊池市のかげがえのない宝であり、菊池の産品や観光を根幹で支える資源です。森林や農地がこれからも十全に機能し市民の生活環境が維持されると同時に、新しいエネルギー生産技術を活用しながら自然環境を保護して、持続可能な循環型社会を目指します。

#### 施策 18 農用地・森林の保全と活用

《主な取り組み》

- ・ 農地、中山間地の保全活動支援
- ・ 遊休農地の拡大防止
- ・ 森林の維持と保全

#### 施策 19 自然環境の保護

《主な取り組み》

- ・ 生活環境保全の意識向上
- ・ 地下水や河川の水質保全
- ・ 地球温暖化対策の推進
- ・ 不法投棄の防止

#### 施策 20 循環型社会の推進

重点

《主な取り組み》

- ・ 再生可能エネルギーの活用
- ・ ゴミの減量化
- ・ 畜産ふん尿の処理対策

施策  
18

## 農用地・森林の保全と活用

担当課 農政課 農林整備課

現  
状  
と  
課  
題

- 農業者の高齢化や担い手の減少等により耕作放棄地が増加し、国土保全や水源涵養など農業・農村の持つ多面的機能の低下が懸念されます。また、地域の共同活動の困難化に伴い、水路や農道等地域資源の維持管理に対する担い手の負担も増大しています。このことから、農業・農村の持つ多面的機能を支える地域ぐるみでの取組みを支援するとともに、担い手への農地の集積・集約化を進め、農用地の有効利用を図る必要があります。
- 林業は、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足などにより、依然として厳しい状況にあります。森林が持つ、水源涵養、治山・治水等、多面的な機能を維持するためには、管理・回復を図ることが重要です。今後も引き続き森林整備と林業基盤整備のため、作業道・作業路を開設することにより、機械化の促進と共同施業による労働力の省力化、低コスト化を図り、林業経営の改善と森林の機能回復を目指します。

課  
題  
解  
決  
に  
向  
け  
た  
取  
り  
組  
み

- 農業・農村の持つ多面的機能の維持増進のため、中山間地域等直接支払制度事業や多面的機能支払制度（農地・水保全管理支払事業）を活用するなど、適正管理のための自立的で継続的な農業生産活動を通じた地域活動に支援を行い、保全を図ります。
- 農地中間管理事業により、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積や集約化を進めます。
- 主要林道の下草刈や作業道等に係る原材料の支給、工事請負、重機借上げ等により林道等の施設の適切な維持管理を行います。
- 作業道・作業路の開設費用について、一部補助を行いながら作業の効率化・合理化を図ることにより林業の振興を推進します。

## 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

### 持続可能な循環型社会のまち

成果指標

	単位	基準値 (H25)	目標値 (H29)
● 農地の利用権設定面積	ha	805	900
● 市管理林道舗装総延長	m	75,721	77,200

市民協働との関係

協働の対象者	協働の取り組み
● 農業者、地域住民	● 農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の砂利補充などを行います。
● 市民、森林組合、J A	● 植樹等イベントに参加し、森林保全に努めます。



施策  
19

自然環境の保護

担当課 環境課

現  
状  
と  
課  
題

- 本市は、菊池溪谷や菊池温泉に代表される菊池の自然の恵みを守り、自然を生かして穏やかな発展を続けていくまちづくりを目指しています。この自然は、後世に残せる大切な財産です。このことを市民が理解し、環境に対する意識を高めるとともに、河川や地下水等の水環境保全の取り組みが重要です。また、悪質な不法投棄を防止する必要があります。
- 大規模開発や企業進出に伴い、水質汚濁、騒音等の公害が発生する恐れがあるため、住みよい生活環境を保全するための対策が必要です。

課  
題  
解  
決  
に  
向  
け  
た  
取  
り  
組  
み

- くまもとみんなの川と海づくりデー等の開催による市民総参加型の清掃活動を推進し、市民の環境保全意識の向上を図ります。また、河川の浄化を目的に流域自治体で結成された菊池川流域同盟による「菊池川の日」の清掃活動等や菊池川清流保全協議会河川水援隊との連携による河川の水環境の保全、市民が設置する雨水浸透枡（旭志・泗水地域）及び雨水タンクの設置を推進します。さらに、不法投棄防止のための監視パトロールやRDF施設周辺のホタル成育調査を行い、自然環境の保護に努めます。
- 菊池市環境基本条例に基づく企業進出時等の事前協議の周知徹底及び適正指導、並びに騒音防止法、悪臭防止法等の関係法令に基づく適正指導を保健所等と協力して進めます。

成  
果  
指  
標

	単位	基準値 (H25)	目標値 (H29)
● 市民参加型清掃活動の参加者数	人	495	1,000
● 雨水浸透枡、雨水タンクの設置数（累計）	基	193	245

市  
民  
協  
働  
と  
の  
関  
係

協働の対象者	協働の取り組み
● 市民	● 地域の美化清掃活動に参加します。

## 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

### 持続可能な循環型社会のまち

施策  
20

#### 循環型社会の推進

重点

担当課 環境課 農政課

現  
状  
と  
課  
題

- 東日本大震災による原発事故や地球温暖化などにより、循環型社会構築に向けた再生可能エネルギーに対する市民意識が高まっており、本市でも再生可能エネルギーの活用を進めることが重要です。
- 市内においてごみの出し方が異なるため、統一する必要があります。また、分別収集やレジ袋削減の取り組みにより、ごみの減量化を図る必要があります。
- 2市2町で構成されるクリーンセンター花房では、各家庭等から排出されたし尿や浄化槽汚泥等を、法律で定められた排出基準値以下の良好な水質に処理し、また処理過程で発生した汚泥は堆肥として農地に還元しています。引き続き、効率的で適切な運営が必要です。
- 畜産農家においては、ふん尿処理施設の整備は概ね完了していますが、近年の飼養規模の拡大に伴い、ふん尿の量も増大し圃場への野積みや悪臭等に対する苦情も少なくありません。

課  
題  
解  
決  
に  
向  
け  
た  
取  
り  
組  
み

- 菊池市再生可能エネルギー活用推進委員会を設置し、再生可能エネルギー（小水力、バイオマス、木質チップなど）の選定・利活用方法を調査検討します。
- 平成29年度（予定）から、2市2町で構成される菊池環境保全組合の分別方法に合わせた、ごみの出し方の統一を進めます。また、分別収集の徹底や生ゴミの肥料化、レジ袋削減に向けた市内スーパーへの協力依頼と市民への啓発を図り、ゴミの減量化を推進します。
- 法律で定められた排出基準を遵守し、適切な処理が行えるよう、菊池広域連合と関係市町が連携し取り組みます。
- 県が実施するバイオマスによる発電等システム構築の調査に参画し、市内の家畜ふん尿処理方策について検討しながら対策を進めます。

成果指標	単位		
	基準値 (H25)	目標値 (H29)	
●世帯あたりのごみ排出量	kg	533	490

  

協働の対象者	協働の取り組み
●市民、生活環境推進委員	●各行政区でのごみの分別、ごみ減量化を行います。また、指導・助言を行い、市全体でのごみ減量化を図ります。
●畜産農家等	●家畜ふん尿の適正処理はもとより、資源としての利用促進に努めます。

### 用語説明

#### ※ R D F 施設

廃棄物固形燃料（Refuse Derived Fuel、R D F）とは、家庭で捨てられる生ゴミやプラスチックゴミなどの廃棄物を固形燃料にしたもので、R D F 施設は廃棄物から固形燃料を生成する施設を指す



## 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

### 安全で安心して暮らせるまち

菊池市民が安全で安心な暮らしができるように、防犯・防災対策を推進します。交通安全のための対策を強化し子どもや高齢者の道路上の安全確保に努めます。地域の消防体制を整え防災意識を高める活動を行います。

#### 施策 21 交通安全・犯罪等対策の推進

《主な取り組み》

- ・交通安全施設の整備促進
- ・交通安全教育の推進
- ・防犯活動の推進
- ・消費者相談窓口の充実
- ・消費者被害防止の啓発

#### 施策 22 防災・消防体制の整備と充実

《主な取り組み》

- ・危機管理防災意識の向上
- ・自主防災活動の推進
- ・防災情報伝達の体制構築
- ・避難救助体制の強化

施策  
21

交通安全・防犯等対策の推進

担当課 防災交通課 福祉課

現  
状  
と  
課  
題

- 平成 25 年の交通（人身）事故発生件数は 255 件で年々減少傾向ですが、さらなる減少のため交通ルールやマナーの厳守が求められます。また、交通安全の確保のためのハード整備も必要であり、交通安全施設の新設に加え老朽化施設の更新費用がかさむことが予想されます。現在は、児童生徒や高齢者には、学校、老人会等において交通教室を開催していますが、一般成人に対しての交通教室を行う機会がないので、広く教室を開催する必要があります。
- 近年、犯罪の凶悪化・多様化が進み、特に子どもや高齢者を狙った犯罪が目立つようになってきています。犯罪を未然に防ぎ、犯罪が発生した場合に適切かつ迅速に対処するためには、警察、行政、市民、団体などが一体となった取組みが求められます。犯罪の発生は、地域の監視の目が行き届いていることを示すことによって抑制できますが、住民のコミュニティ意識の希薄化や生活様式の多様化に伴い、地域社会が伝統的に有していた犯罪防止機能が低下しています。
- 消費者である市民の生活や財産を脅かす悪質商法や借金による多重債務の問題は、未だ後を絶たちません。消費者被害を未然に防ぐため、相談窓口の充実や地域、団体が連携して見守り体制を強化する必要があります。消費者被害に遭わないための啓発活動により、子どもから高齢者まで全てのライフステージで自立した意識づけを行う必要があります。

課  
題  
解  
決  
に  
向  
け  
た  
取  
り  
組  
み

- 道路走行（歩行）者の安全確保のため、カーブミラー、道路区画線などの交通安全施設の新設、点検更新を図るとともに、特に子どもと高齢者の交通事故防止を推進するため、交通安全教育を充実します。
- 犯罪に強い地域社会を構築するため「菊池市安全パトロール隊」により、地域住民・警察・行政が一体となった自主防犯活動に取り組みます。
- 平成 23 年度に消費生活センターを設置し、専門の相談員を配置したことで、相談件数も被害救済金額も年々増加しています。また、出前講座等により消費者被害に遭わないための啓発活動を行います。



## 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

安全で安心に暮らせるまち

### 成果指標

	単位	基準値 (H25)	目標値 (H29)
● 市内交通事故発生件数	件	245	235
● 市内刑法犯罪数	件	280	270
● 消費者被害の未然防止及び相談件数	件	218	300

### 市民協働との関係

協働の対象者	協働の取り組み
● 交通指導員、地域の交通委員、PTA、市民	● 通学時間帯の交通指導や交通安全施設の調査点検を行います。また、カーブミラー等の維持管理を行います。
● パトロール隊	● 地域住民が自主防犯活動に取り組みます。
● 市民、地域、団体等	● 市民が自立した消費者になるために、様々な機会を通して教育や啓発を推進し、情報交換を行います。



施策  
22

防災・消防体制の整備と充実

担当課 防災交通課 土木課

現  
状  
と  
課  
題

- 災害時における情報伝達手段を確保するため、移動系防災行政無線のデジタル化及び戸別受信機の拡充を図る必要があります。
- 山間部には、急傾斜崩壊危険箇所や土石流危険溪流箇所が多いため、計画的な対策が必要です。
- 消防体制や消防施設の充実、初動体制の強化を図るため、菊池郡市の2市2町で構成される菊池広域連合消防本部により、効率的な消防、救急、防災活動に今後も取り組んでいく必要があります。
- ハザードマップの利用や危険箇所を住民自身を知ることなど、市民の防災意識の啓発や自主防災組織の充実及び育成指導に努めながら、災害時の迅速な対応ができるよう、市民一人ひとりの災害対応力を高めていく必要があります。
- 過疎化や少子高齢化、地域社会への帰属意識の低下等により、消防団員の確保が難しい状況にあります。また、これまで消防団を担う中心にあった、自営業者が減少し、被雇用者の団員割合が7割を占め、地域防災力の低下が懸念されます。

課  
題  
解  
決  
に  
向  
け  
た  
取  
り  
組  
み

- エリアメールや安心メール等、防災無線以外の伝達手段があることについても、市民への周知徹底を図り、伝達手段を確保するとともに、新たな伝達方法についても検討します。
- 平時から市民へ災害についての意識啓発を図り、安全な生活を確保するため土砂災害対策や洪水対策などを促進します。
- 菊池広域連合消防本部の活動が効率的かつ迅速に取り組めるよう推進します。

## 第4節 自然の恵みを守る安全なまちづくり

前期3年で目指す姿

安全で安心に暮らせるまち

### 課題解決に向けた取り組み

- 防災意識の普及・啓発を図りながら、自主防災組織等の結成を促すとともに、総合防災訓練を実施するなど、市民の自主防災力の向上を図ります。災害による被害を最小限に軽減するとともに、応急対策及び復旧対策が円滑に行われるよう広域連携など相互応援体制を確立します。
- 消防団員を確保するため、子どもの頃から消防団へ親しむ幼年少年消防クラブの活動の推進や被雇用者が入団しやすい環境、活動しやすい環境を構築していきます。また、地域の実情に応じ消防機能の強化（広域体制を確立）を図るとともに、小規模分団の再編成に向けて検討します。

### 成果指標

	単位	基準値 (H25)	目標値 (H29)
● 自主防災組織率	%	50	90
● 安心メール登録者数	人	1,700	3,000

### 市民協働との関係

協働の対象者	協働の取り組み
● 自治会、自主防災組織	● 危険箇所の点検調査や防災訓練等を行います。

### 用語説明

#### ※ハザードマップ

自然災害による被害を予測し、その被害範囲、避難経路、避難場所を地図化したもの

#### ※エリアメール

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、地方公共団体が発信する災害・避難情報などを受信することができる携帯事業者によるメールサービス

#### ※安心メール

菊池市の火災防災防犯等に関する緊急連絡を行う登録制メールサービス

